

2019年9月期 第3四半期決算説明資料

2019年8月9日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2019年8月9日に2019年9月期第3四半期決算を発表いたしました。**引き続き順調な業績**を収めることができ、これもひとえにステークホルダーの皆様の日ごろのご支援と感謝しております。

当社グループは、**IT技術をもって「安心・安全・豊かな社会に貢献する会社」**を目指し、既存ビジネスに加え**サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」**や、**世界基準のGPS端末機「トラッキモ」**の取り扱いを開始し好評を博しております。さらに、継続的なM&Aの実行により、来るべきConnected Worldを見据えた**「IoT/IoE社会の循環構造」**が当社グループ内に整いました。ITエンジニア不足と少子高齢化が言われる中、将来成長へ向けた積極的な採用活動を展開し、**順調にグループ規模が拡大**しております。

当社グループは、これからも「安心・安全・豊かな社会」を実現すべく、**「IoT/IoE社会 = Connected World」**、**「IIOT = Industrial Internet of Things（産業分野におけるIoT）」**、**「自動走行・自動運転・Connected Car」**、**「VR/AR」**、**「AI」**等へソフトウェア技術を提供するとともに、**「M&A戦略」によりグループの拡大**を目指してまいります。

引き続きご支援のほど直しくお願い致します。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長 原口 直道



1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期を大幅に上回る売上高実績

<2017/9 連結売上高>

通期実績： **11,397百万円**

(前期比34.0%増)

<2018/9 連結売上高>

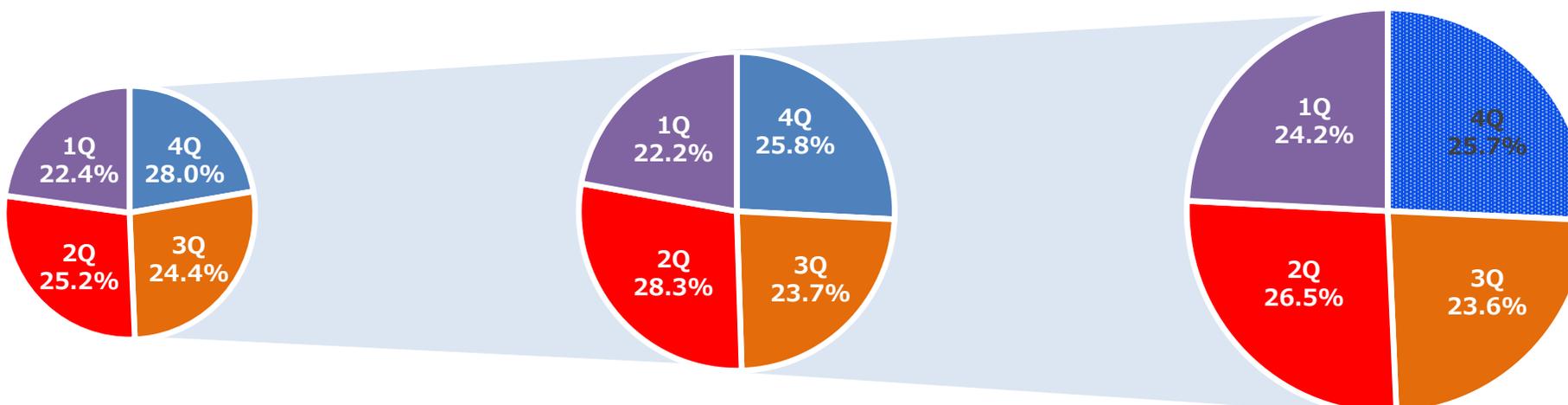
通期実績： **14,493百万円**

(前期比27.2%増)

<2019/9 連結売上高>

通期予想： **16,000百万円**

(前期比10.4%増)



2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発を継続

- ・ 車車間通信を可能にする **「V2X」**
- ・ コミュニケーションツール **「A-ya」**、**「位置情報」** を活用したソリューション
- ・ 情報セキュリティ分野への取り組み **「AppGuard®」**

2019年9月期 第3四半期決算業績サマリー



売上高：11,885百万円（前年同期比10.6%増）。高品質なサービスの提供に継続邁進すると共に、成長戦略の柱であるIoT/IoEソリューション事業において、グループ間シナジーによる多角化を図る。

営業利益：475百万円（前年同期比15.4%減）。「AppGuard®」に係る販売促進及び新規販売パートナーの獲得等、戦略的先行投資を実施。

拡大継続：将来的なオフショア開発を視野に入れた**海外企業との出資契約を締結**した他、株式会社インフィニテックの子会社化等、**規模拡大に向けた各種施策を実施**。

(百万円)	18年9月期			19年9月期（計画）				通期計画 進捗率
	上期 実績	第3四半期 累計実績	通期 実績	上期 実績	第3四半期 累計実績	前期比 増減	通期計画	
売上高	7,308	10,746	14,493	8,112	11,885	10.6%	16,000	74.3%
売上総利益	2,016	2,936	3,946	2,026	3,040	3.6%	-	-
(売上総利益率)	27.6%	27.3%	27.2%	25.0%	25.6%	-1.7pt	-	-
営業利益	494	561	728	387	475	-15.4%	800	59.4%
(営業利益率)	6.8%	5.2%	5.0%	4.8%	4.0%	-1.2pt	5.0%	-
経常利益	516	596	771	390	485	-18.6%	816	59.5%
(経常利益率)	7.1%	5.6%	5.3%	4.8%	4.1%	-1.5pt	5.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	288	326	469	191	251	-22.9%	540	46.5%
(当期純利益率)	3.9%	3.0%	3.2%	2.4%	2.1%	-0.9pt	3.4%	-
EPS	71.01円	79.43円	113.74円	45.73円	60.46円	-	130.27円	-



1. 決算概要	4 ページ
2. 実用化されたIoT/IoEソリューション	8 ページ
3. CSR・ESGへの取り組み	15 ページ
4. 中期ターゲットと株主還元方針	18 ページ
5. 参考資料	21 ページ

証券コード 3918

東証一部上場

PCIホールディングス株式会社

PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社
- VSE株式会社
- 株式会社インフィニテック



1. 決算概要

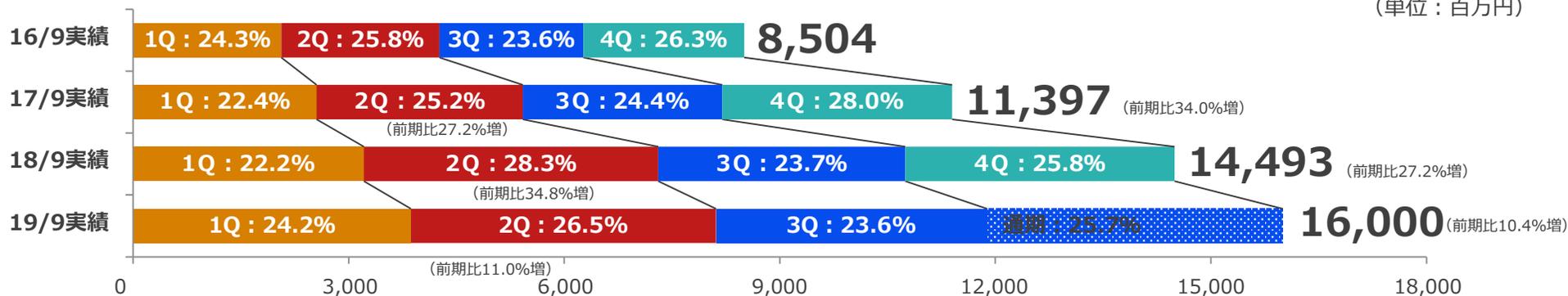


2019年9月期 第3四半期 業績推移 (サマリー)

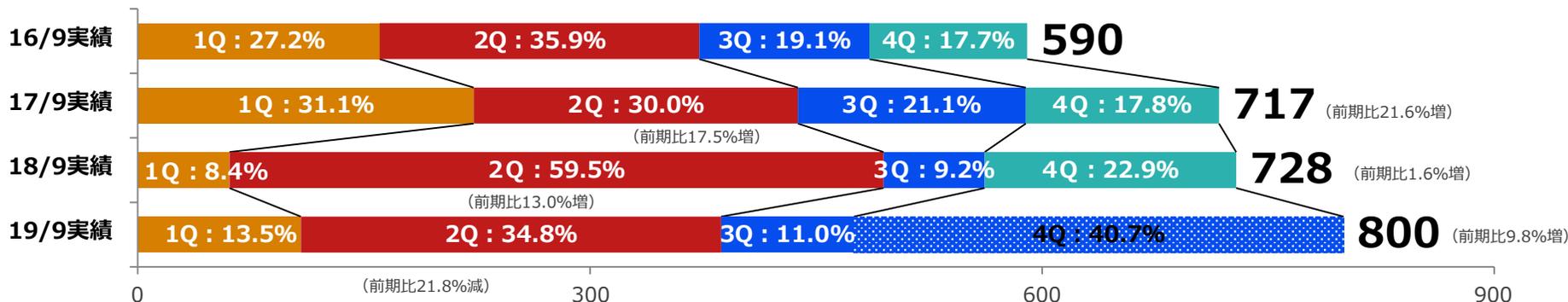


(単位：百万円)

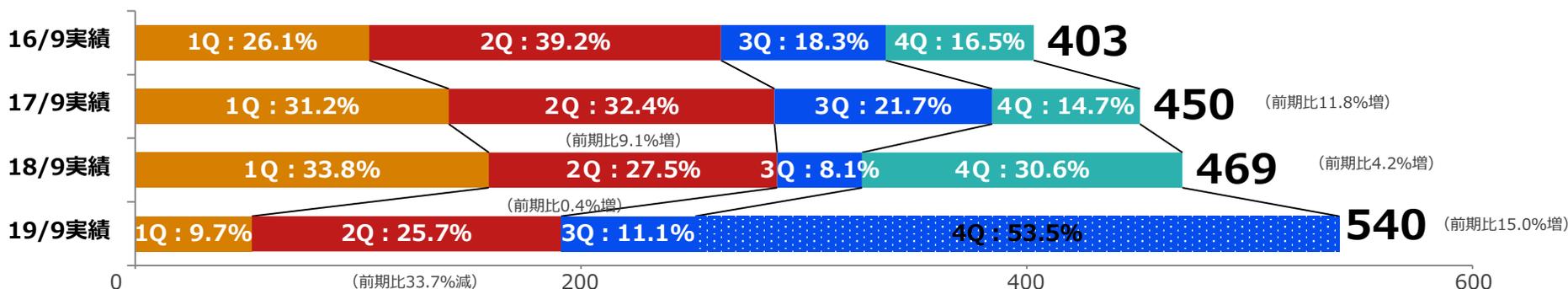
売上高



営業利益



当期純利益



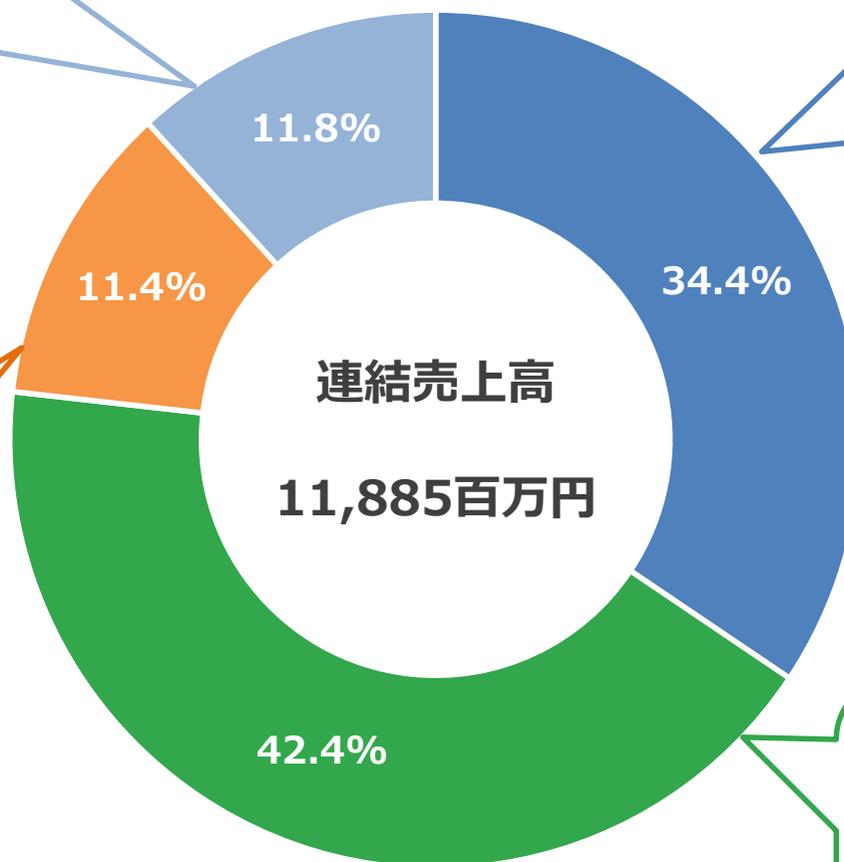
IR Movies

- 一部顧客における在庫調整の影響を受けた一方、**評価基板案件等における新規顧客の開拓**やソフト案件の継続的な需要により売上が伸長。
- AIやIoT需要の高まりを背景とした半導体市場の中長期的拡大を見込み、**新技術の開発及び自社製品の実用化に向け研究開発投資**を実行。

- 車載情報系案件からより参入障壁の高い車載制御系、**ADAS、AUTOSAR**系開発案件の受注拡大に注力。
- 先進運転支援システム**系開発案件等、**スマートカー関連**案件の引き合いが継続した他、**通信系案件**が好調に推移。
- 連結子会社VSE社の既存事業との事業間シナジーにより**エンベデッド技術者確保・各種案件獲得**に至る。

- 連結子会社りーふねっと社が展開する**通信事業分野**が好調に推移し、売上に大きく寄与。
- 「**AppGuard®**」の知名度向上及び販売代理店網拡充・販路拡大と販売強化を継続。

- 既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓に努める。
- 多岐にわたる顧客需要に応えるべく、**高度な技術を要するビジネスパートナー**との更なるアライアンスを強化
- 産業・流通向け案件**が増加した他、**エネルギー関連案件**等の継続的な受注により、堅調に推移。



■ エンベデッド ■ ビジネス ■ IoT ■ 半導体

連結損益計算書

(百万円)	2018年9月期				2019年9月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	通期計画
売上高	3,210	4,098	3,438	3,746	3,866	4,245	3,772	16,000
エンベデッドソリューション	1,160	1,207	1,125	1,282	1,304	1,442	1,341	-
ビジネスソリューション	1,519	1,999	1,452	1,588	1,696	1,858	1,481	-
IoT / IoE ソリューション	86	415	432	441	339	470	545	-
半導体トータルソリューション	443	474	427	433	526	473	404	-
売上原価	2,461	2,831	2,518	2,736	2,934	3,151	2,759	-
売上総利益	749	1,266	919	1,010	932	1,094	1,013	-
エンベデッドソリューション	241	280	231	250	282	321	321	-
ビジネスソリューション	335	604	339	415	353	461	292	-
IoT / IoE ソリューション	23	234	213	209	129	199	289	-
半導体トータルソリューション	149	146	134	135	167	112	110	-
販管費	688	832	852	843	824	815	925	-
営業利益	60	433	67	167	108	278	88	800
営業外収益	22	7	17	11	11	4	10	-
営業外費用	3	5	4	3	3	8	3	-
経常利益	80	436	80	174	115	274	95	816
税前利益	179	280	79	191	114	225	112	-
法人税等	21	151	42	47	55	83	50	-
親会社株主に帰属する当期純利益	158	129	38	143	52	138	60	540

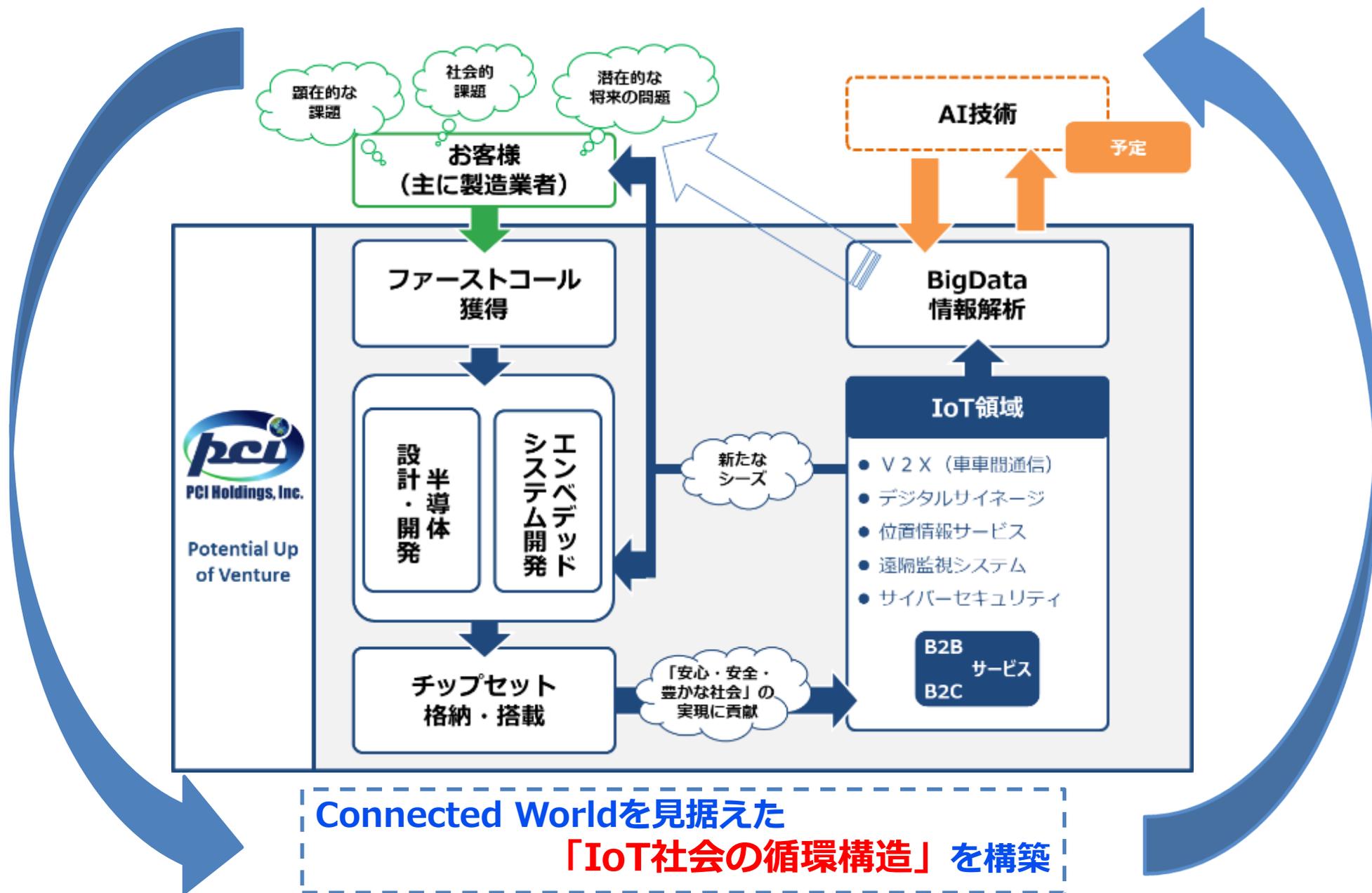


2. 実用化されたIoT/IoEソリューション



Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.



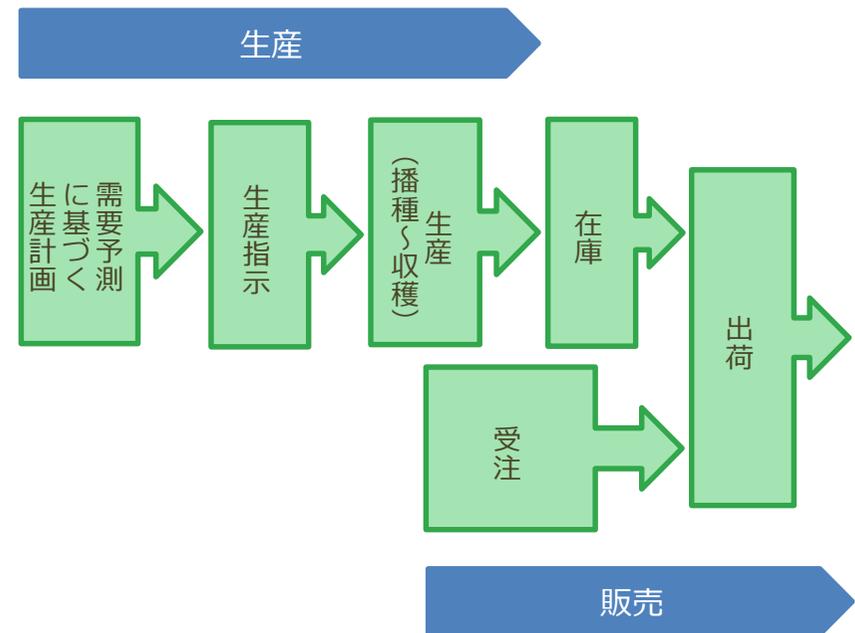
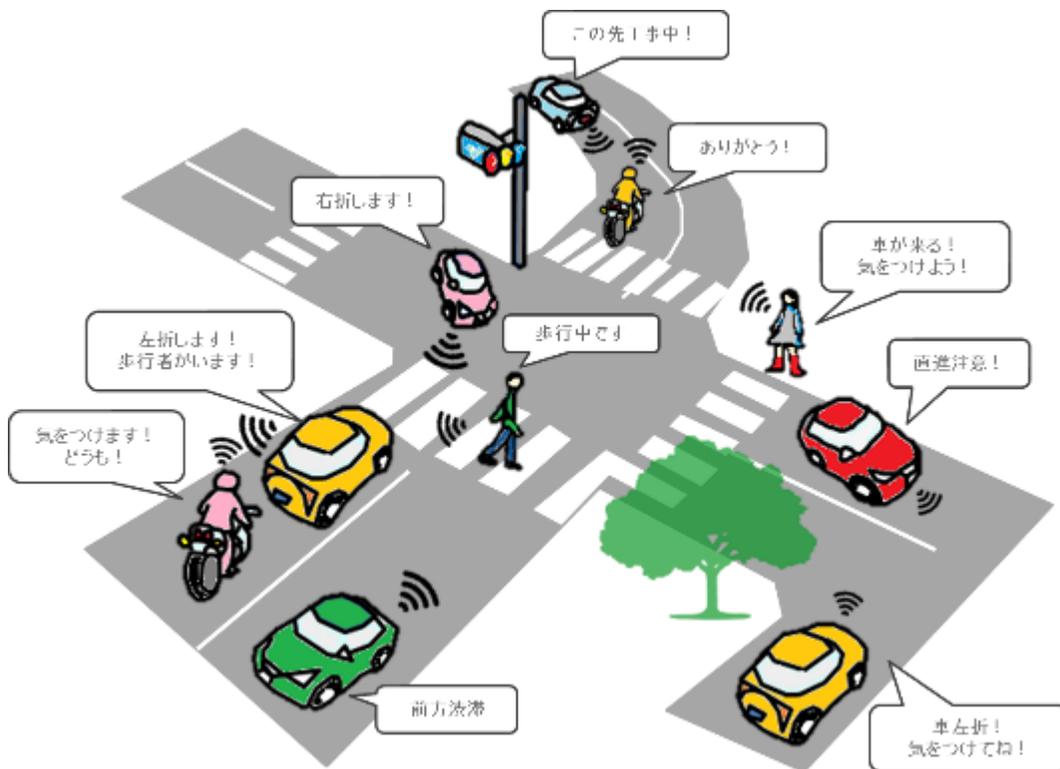


V 2 X (Vehicle to X・車車間通信)、植物工場事業への参画

V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は**V 2 Xユニットのソフトウェア開発**と**V 2 Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社レスターホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



世界市場におけるベストセラーGPS端末「Trackimo」を展開



- ✓ トラックモ社は米国に本社があるイスラエル系ハイテクベンチャーです
- ✓ トラックモ社は、世界市場で小型・軽量・高精度・高機能・低価格・長い電池寿命を誇るGPS端末であるTrackimo GPS Tracker端末を提供しています。
- ✓ コンパクトなTrackimo GPS Trackerは世界中の携帯電話カバレッジエリアで作動し、ローミング料金は不要です。GPSと3GSMにより、即時且つ高精度の現在位置情報及び履歴情報が確認できます。

海外市場における主要顧客

Carriers

Telefonica

TURKCELL

orange

Claro

Singtel

vodafone

telcel

verizon

Platform Providers

Hewlett Packard Enterprise

ERICSSON

Nokia Networks

Insurance

AXA

Allianz

mySafety



テキスト、Eメール及びアプリメッセージによる、GPS端末の移動、設定速度を超えた移動、及び急動作又は衝撃のユーザー・アラート機能



SOSボタンを押すことにより、端末の位置をアプリメッセージ、Eメール又はテキストにて送信。

- ✓ アプリをウェブ又はスマホで入手し、アラート設定及びご自分の全トラックをマップ上で確認することが可能です。



経緯・・・

来るべきIoT/IoE社会におけるサイバーセキュリティ領域へ進出するために『最強そして究極』と呼ばれる『AppGuard®』の取り扱いを開始

目的・・・

IoT/IoE 社会
 =あらゆるモノがインターネットを介してつながる社会
 =Connected World
 におけるサイバーセキュリティを先行

効果・・・

自動走行・自動運転をはじめとした「人と人」・「人とモノ」・「モノとモノ」が相互に繋がる「Connected World」のセキュリティ強化まで、当社グループがリード

平成30年度版 準拠
内閣サイバーセキュリティセンター
ガイドライン準拠製品!

革新は、違うカタチをしている。
APPGUARD
 BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリーにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で準拠 APPGUARDとは

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準群」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能を有するソフトウェアの導入」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

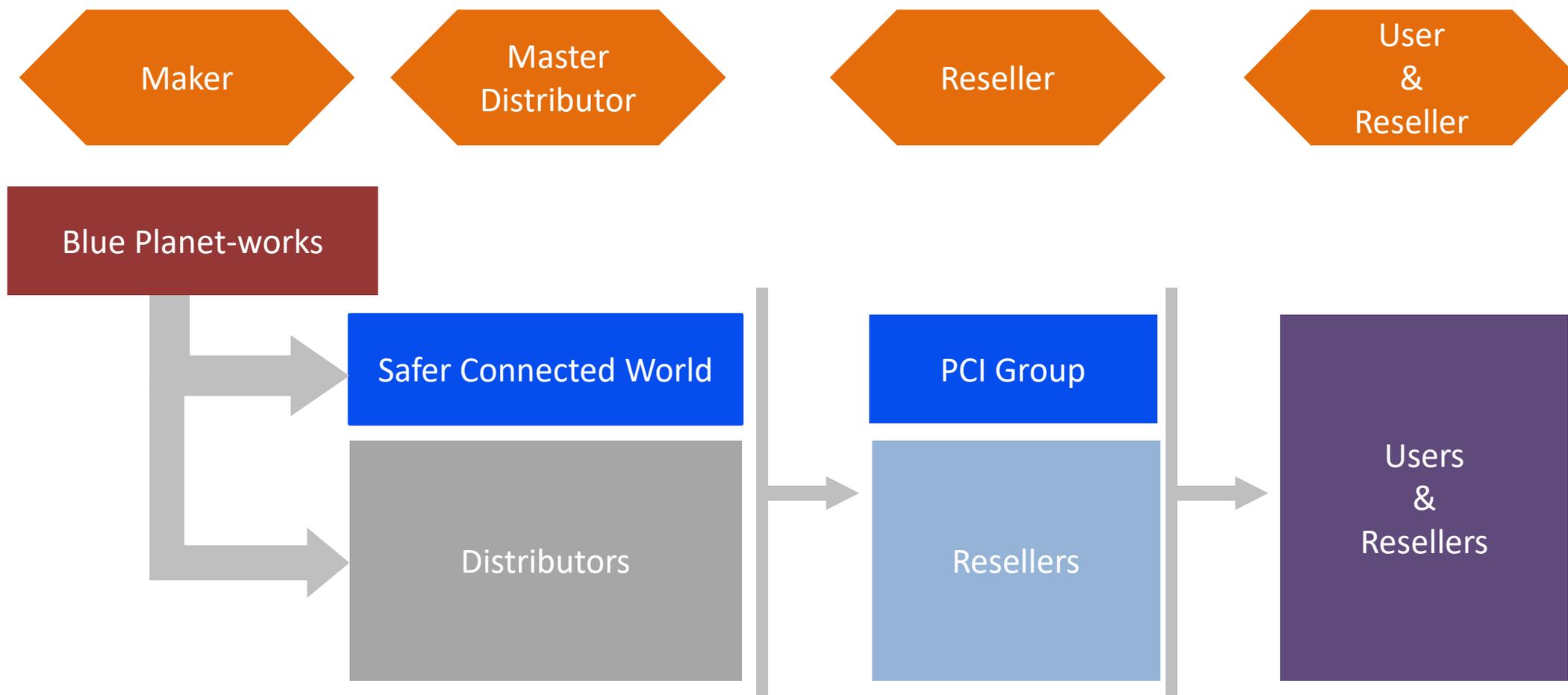
NISCガイドライン	APPGUARD
シグネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	シグネチャ(定義)ファイルに依存しません
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン・アップデートは不要です

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策
 に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品!

AppGuard、AppGuardのロゴは米国法人AppGuard, Inc.、または株式会社Blue Planet-works及びその関連会社の、米国、日本またはその他の国における登録商標、または、商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。製品の仕様と価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本書の記載内容は、2018年8月現在のものです。

2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC=National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。（内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋）

当社グループの『AppGuard®』販売フロー



当社グループの『AppGuard®』リセラー一覧（掲載許可リセラー様のみ）



<p>アイティーエム株式会社</p>  <p>アイティーエム株式会社</p> <p>システムの安心・安全を実現させる“マネージド セキュリティ インフラ”を提供します</p> <p>https://www.itmanage.co.jp/</p>	<p>ポートウェルジャパン株式会社</p> <p>Portwell Japan, Inc.</p> <p>老舗の産業用 PC、サーバー・エッジ コンピューティング製品のメーカーです。</p> <p>https://www.portwell.co.jp/</p>	<p>株式会社グローバル・ネット・アドベンチャーズ</p> <p>GLOBAL NET ADVENTURES for a new world beyond today's computer networks</p> <p>先進のセキュリティ基盤に基づく 次世代サービスの構築支援</p> <p>http://global-net-adventures.com/</p>
<p>株式会社バルク</p>  <p>P マークと ISMS の認証取得支援トップクラスの 実績で企業を強力にサポートします。</p> <p>https://www.vlcank.com/</p>	<p>ダイワボウ情報システム株式会社</p>  <p>国内の IT 流通を支える トップディストリビューター。</p> <p>https://www.pc-daiwabo.co.jp/</p>	<p>株式会社チェンジ</p>  <p>NEW-IT トランスフォーメーションで お客様の生産性を革新する。</p> <p>http://www.change-jp.com/</p>
<p>株式会社日立ソリューションズ・クリエイト</p> <p>伊藤忠テクノソリューションズ株式会社</p> <p>福島コンピューターシステム株式会社</p> <p>株式会社GRCS</p>	<p>株式会社ビーアイ</p> <p>シクロマーケティング株式会社</p> <p>株式会社エクシード・ワン</p> <p>田中電機工業株式会社</p>	<p>株式会社クオンタムオペレーション</p> <p>株式会社リプロス</p> <p>一般社団法人日本 IFA 協会</p>

3. CSR・ESGへの取り組み



Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.



ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治) に対し、
継続的かつ積極的な貢献を目指しております。

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」のサポート活動

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」が取り組む研究活動へのサポートを開始（2017年4月）。RISCs（Rikyoo Ikebukuro Support Companiesの略称。本活動に賛同・協力する事業会社群のこと）と共に、「**理工系人材の育成**」、「**イノベーション環境の提供**」をテーマに、中高生が最先端技術に触れる機会の提供と社会的意義が深く新たな価値創造ができる人材育成を目的。

山形県村山市との「地方創生と人づくりに向けた包括的ICT連携協力に関する協定」

山形県村山市内を流れる最上川沿いに建つ多目的温泉保養館「クアハウス基点」へ、市民や観光客の皆様への情報提供を目的に「**デジタルサイネージ『情報掲示板A-ya』**」を導入（2017年10月）後、「**ICT連携に関する協定**」を正式締結（2018年1月）。住民の皆様への公共サービス向上と社会実装を目指した「**除雪等位置情報システムに係る実証実験**」（2018年2月開始）の実施や、「むらやま教育のつどい（2018年11月開催）」へのブース設置により、「**ICT教育及び先端サイネージ・ソリューションの体験環境**」を提供。

プロテニス選手を目指す佐藤南帆選手を応援

青少年の健全育成に賛同し、スポーツ活動の支援を決定。具体的には、「**将来を担う次世代育成**と、「**活動的な社会の実現**」を目指した青少年育成を目的に、「TeamNaho」を通じて世界で活躍するテニスプレイヤー佐藤南帆選手のサポートを開始（2017年8月）。

ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治) に対し、
継続的かつ積極的な貢献を目指しております。

早稲田大学理工学術院総合研究所との共同研究を開始

連結子会社PCI ソリューションズ株式会社が、早稲田大学理工学術院総合研究所（所長 木野邦器氏）と次世代 IT 技術の開発とその技術を核とした事業基盤の創出を目的とする共同研究契約を締結。「自動運転」「画像処理」「5G」「エッジコンピューティング」「位置測位」「セキュリティ」等の要素技術をキーコンセプトに、スマートで安心な次世代社会へ貢献する研究・開発に共同で取り組むとともに、**新しいサービス価値を創造することで事業基盤を構築し社会に発信することを目的**。PCI ソリューションズは、早稲田大学西早稲田キャンパス内 55 号館に設けられた研究室を拠点に共同研究開発を推進。

<具体的な共同研究項目>

1. 移動環境下での**コネクティッドカーの運転支援、自動運転、完全自動運転**を目指して、画像のリアルタイム伝送を可能とするシステムの構築に必要な処理・伝送技術の研究開発を行うとともに、**自動運転支援への適用を目指したサービスモデルの構築**
2. **画像認識技術と AI** を組み合わせた、**画像の解析・データ化・マッチングを行う画像認識エンジンのアルゴリズムの開発**及び、その技術に基づく新たなサービスの提供
3. **産業現場における労働生産性の向上**を目的とした「ヒト・モノ」の動き（移動）の最適化、社会的要請である防犯・防災（減災）による「安心」できる社会基盤の構築で必要となる**「ヒト・モノ」の位置や動きを精度よく且つリアルタイムな伝送、シグナルを情報へと変換・利活用する技術の研究開発とビジネス化**。

4. 中期ターゲットと株主還元方針

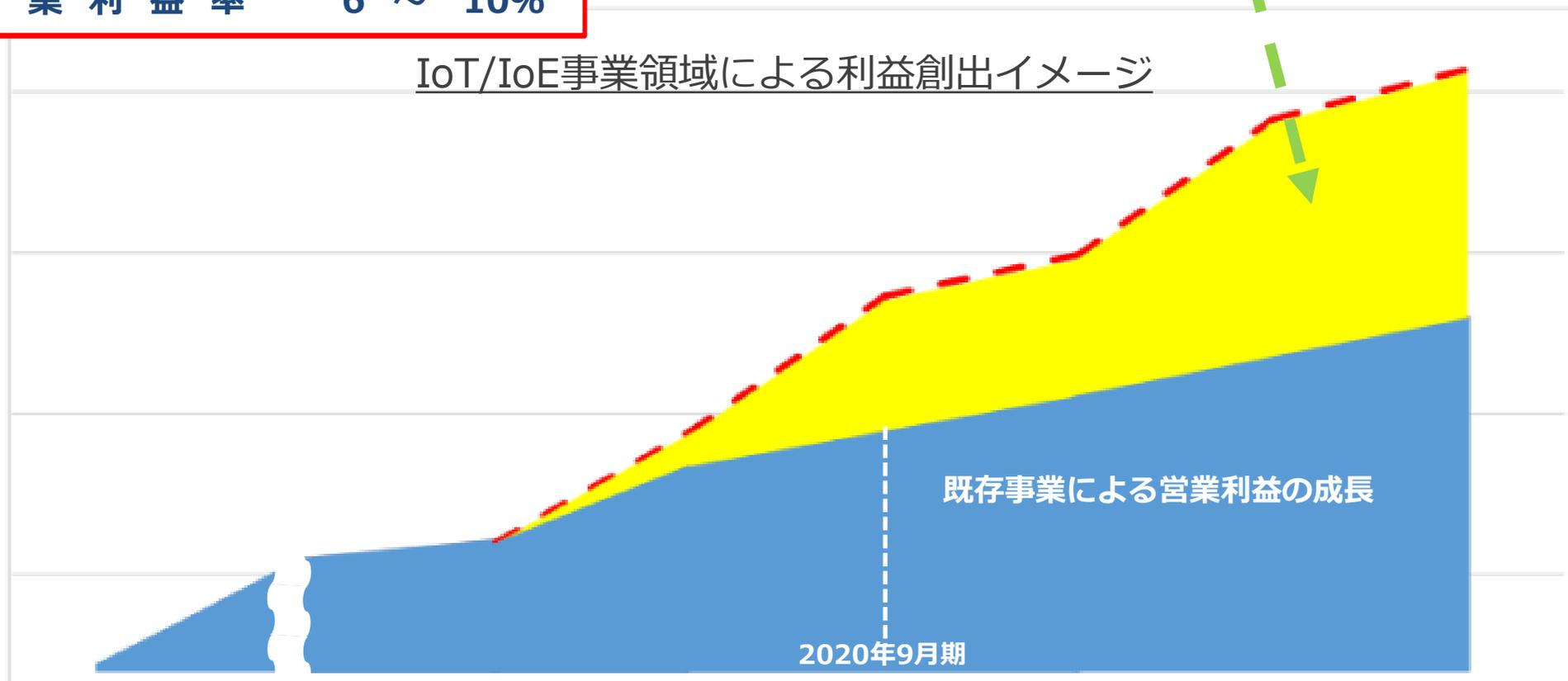


中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

株主還元方針

安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
[連結配当性向：30%～50%を目安とする]

配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	46.1%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施いたしました(第2四半期30円、期末30円を予定)。

5. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,516万円 (2018年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	144億9,359万円 (2018年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	7億7,118万円 (2018年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,195名 (2018年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株) シスウェーブ (株) シー・エル・シー (株) りーふねっと Safer Connected World(株) VSE(株) (株) インフィニテック

企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて
全社員の幸せを追求し、
そして**社会の発展**に貢献します。

行動方針

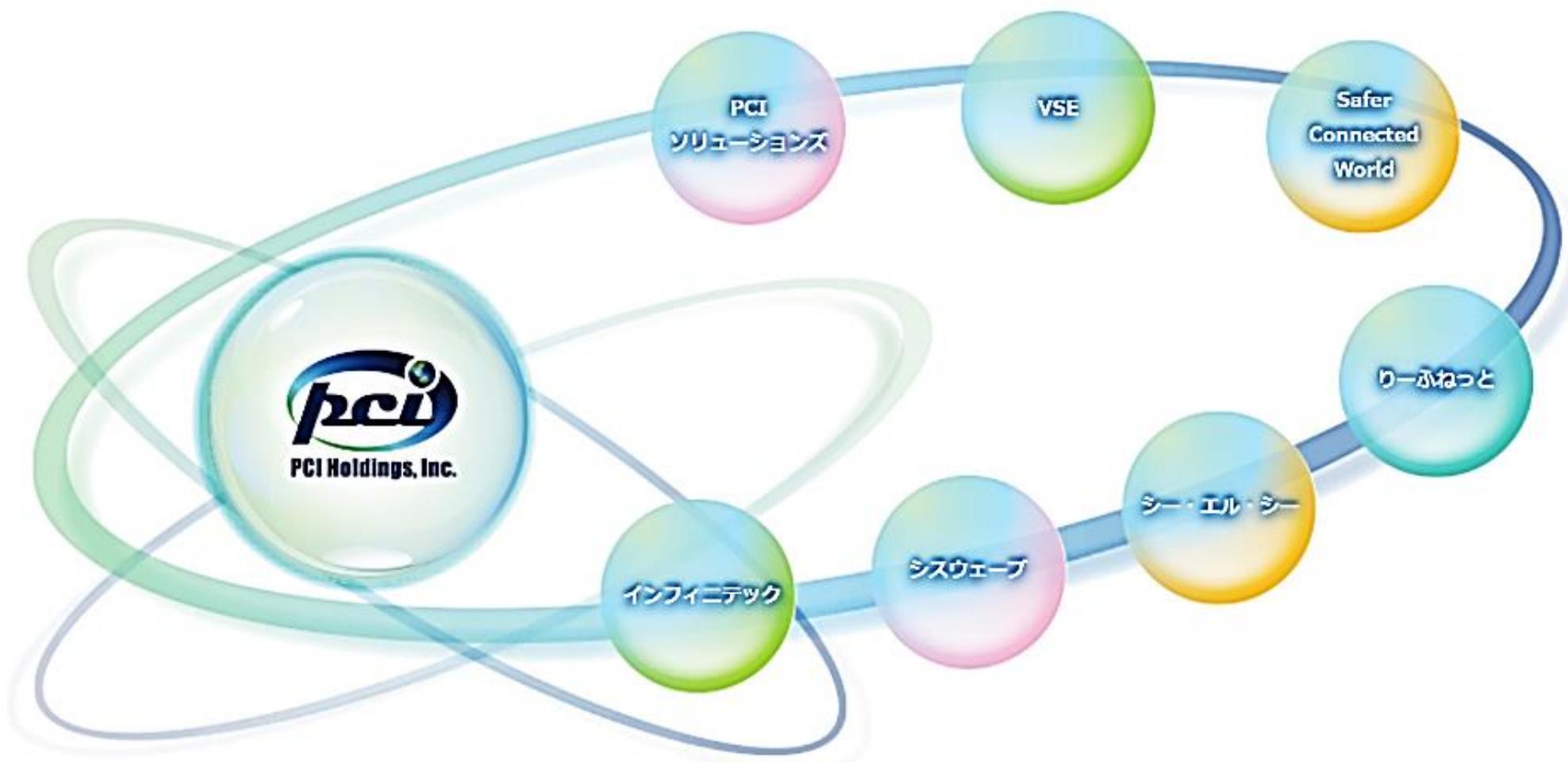
安定した事業成長を実現します
ユーザに適したソリューションを提供します
応援して頂ける企業を目指します
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を
目指します

（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

2019年9月期 グループMotto

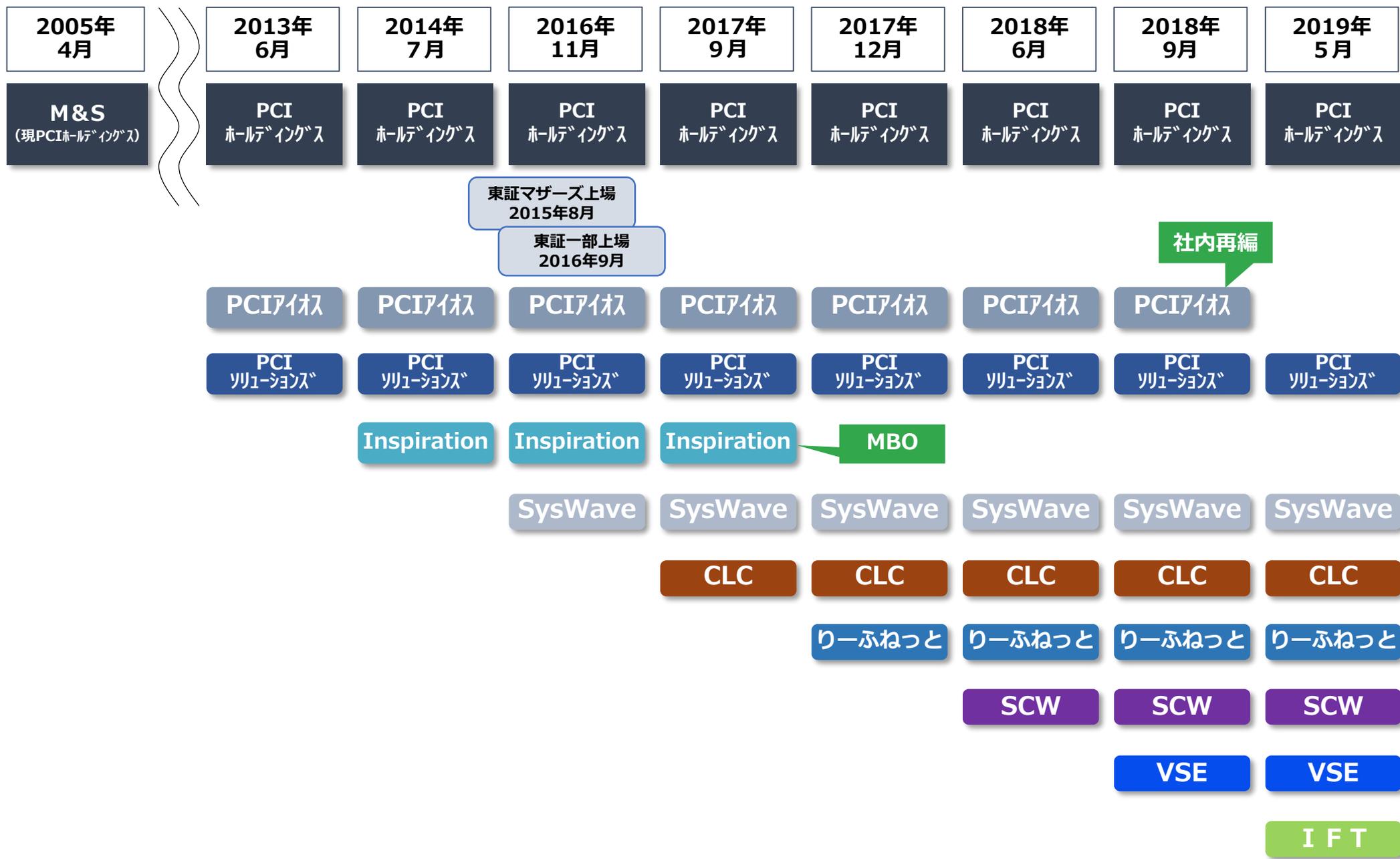
IoTにより全てが繋がる社会になる中、
当社はITを通じて、
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。

PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます

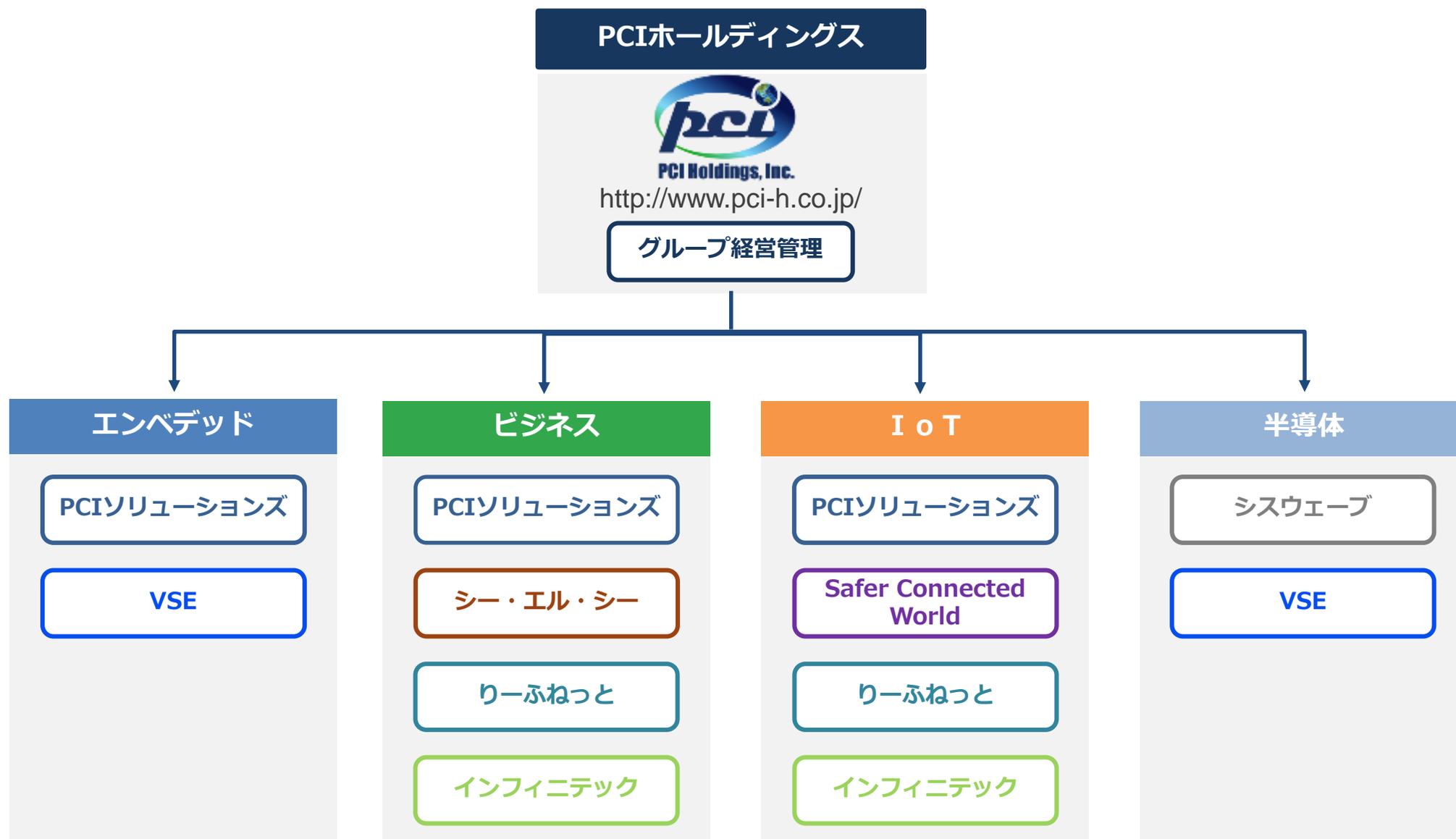


会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます



※インフィニテック社は、2019年5月7日付で当社連結子会社となり、その業績は2019年9月期第4四半期より連結業績へ反映されます。

PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約65%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応じている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

シスウェーブ

半導体トータル
ソリューション

LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

Safer Connected World

IoT/IoE
ソリューション

セキュリティ製品を通じ、IoT/IoE社会の「安心・安全」へ貢献する社内ベンチャー企業

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。（株）BluePlanet-workusとの合併会社。

りーふねっと

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

VSE

エンベデッド
ソリューション

半導体トータル
ソリューション

半導体技術を強みとしたシステムエンジニアリングカンパニー

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。（株）レスターエレクトロニクスとの合併会社。

インフィニテック

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

教育機関におけるシステムリーディングカンパニー。文教向けソフトウェア開発、IoT関連自社製品開発に強み

ネットワーク対応AVシステム、セキュリティ関連機器及びアプリケーション、音声・画像認識関連ソリューションの開発・販売を行う事業会社。2019年5月より、（株）レスターホールディングスとの合併会社として当社グループ子会社化。

さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。
参入障壁は極めて高い。

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。
特殊性が強い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。
参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

半導体ソリューション

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

エンベデッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

シナジー効果

収益基盤 (安定成長)

高い技術力の源泉



PCIホールディングスの事業基盤

技術力 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

知的資本 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」

- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。

お客様（主に製造業者）

〇〇な機能を開発して欲しいなあ



要件定義・基本設計

発注

高い参入障壁

製造業者はリコールリスクを回避するため実績・信頼ある企業にのみ発注



開発事例

カーナビ



- ・ **タッチパネル**で画面を切り替える機能

自動車



- ・ アクセルを踏むと**ガソリン噴射量を制御**する機能
- ・ エンジン、エアコン等の制御機能
- ・ **センサーによる自動駐車**機能

スマートフォン タブレット



- ・ **ディスプレイ表示**の仕組み
- ・ アプリケーションの基盤
- ・ データ通信機能
- ・ 電波を切替える機能 等々

デジタルカメラ



- ・ 画面上のアイコン・ボタンメニュー等を操作する機能
- ・ シャッターを押して**フォーカスを合わせる機能**
- ・ 画像処理機能 等々

製品にチップセット組み込み

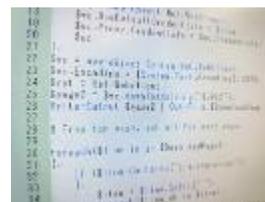
納品

システム開発

詳細設計

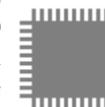
↓
プログラミング

↓
テスト



開発したプログラムをチップセットに格納

チップセットとは、ある機能を実現するための集積回路の組み合わせのこと。ソフトウェアの開発力でハードの複雑な機能を実現する。



多岐にわたる機能を必要とする機器のシステムは、最先端技術を駆使し、複数のハードウェア・ソフトウェアを組み合わせ開発しています。

※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。



「AppGuard®」テクノロジーについて

＜特徴＞

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

＜採用実績＞

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

＜主要株主＞

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies

Advisors



黒川清

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



Mark Kelton

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



出井伸之

- クオンタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



Stanton D. Anderson, Esq.

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



村井純

- 慶應義塾大学
大学院 政策・メディア研究科委員長
環境情報学部 教授



Robert Bigman

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer)
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 事業企画室

E-mail ir@pci-h.co.jp



[IR Movies](#)

Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.